

| カデンツァ |

CADENZA

石川県立音楽堂 / オーケストラ・アンサンブル金沢 情報誌

井上道義ラストイヤー
井上道義とOEKの足跡を振り返る
インタビュー ピアニスト フアジル・サイ

井上道義ラストイヤー

井上道義と OEKの足跡を 振り返る

岩城宏之の後を受け継いで2007年1月から2018年3月までオーケストラ・アンサンブル金沢(OEK)の第二代音楽監督を務め、現在は桂冠指揮者である井上道義。今年末の指揮者引退を控え、10月の全国共同制作オペラ《ラ・ボエーム》と11月の第487回定期がOEKとの最後の公演となる。そこで数々のOEKとの名場面を写真で振り返り、両者のパートナーシップを総括したい。

文=潮博恵



音楽監督就任記念公演「雅楽聲明との出会い」(2007年2月)

東日本大震災直後、当時高校生だった郷吉廉と共演(2011年3月)

ヘンデル・ガラコンサート公演「神々しき調べ」より(2011年9月)

仙台フィルハーモニー管弦楽団を迎えて「大震災からの復興支援コンサート」(2011年4月)

音楽監督時代、音楽堂の入口に掲げられたキャッチコピー「何をやっているのかな? 音楽Do」

金沢音楽会と共に世界初演された、高橋裕「能とオーケストラのための(井筒)」より(2008年10月)

ドビュッシー「おもちゃ箱」より(2008年3月)

井上が当時飼っていたアヒル、まひるくんが登場したプロコフィエフ《ピーターと狼》(2012年3月)



2008年5月に開催された「ラ・フォル・ジュルネ金沢」

2010年に開催された第2回指揮者講習会。共に指導にあたった広上淳一や当時講習生だった沖澤のどかの姿も。

21世紀美術館にて井上&OEKが15のチームに分かれ各展示室で演奏した「建築と音のアンサンブル」。井上は「作曲中」と題された《アート》に(2010年9月)

Michiyoshi Inoue LAST YEAR

井上がOEKと石川の聴衆にもたらした最大の恩恵は、企画ものや様々なコラボレーションによる公演を通して得られた刺激的で面白い体験の数々だ。

音楽堂入口の柱に掲げられた井上の顔写真と「何をやっているのかな? 音楽Do」というキャッチコピーはまさにこの姿勢の象徴だった。彼が他ジャンルとのコラボレーションの際はもちろん、正統的なオーケストラ公演においても、毎回聴衆の予想を超えた演奏や企画を繰り広げて楽しませることができたのは、自らの最大の強みである、その唯一無二のパーソナリティを大事に守り、貫き通したからこそ実現できた成果なのだろう。

井上時代を象徴するものとしてはもう一つ、ゴールデンウィークの音楽祭「ラ・フォル・ジュルネ金沢」を開始し、現在の「ガルガンチュア音楽祭」へと続くきっかけをつくった功績が大きい。音楽祭を開催することで、音楽堂のネットワークが幅広い層の聴衆や地元音楽愛好者に広がった。



岩城宏之の名を冠した音楽賞の創設やコンサートを開催



チョコリーニと共演したラ・ロック・ダンテロン国際ピアノ・フェスティバル(2011年8月)

音楽監督を退任してから6年が経った今振り返ってみると、井上は岩城がOEKでつくり上げたものに対して敬意を持って受け継ぎながら、井上カラーを打ち出していたということがよくわかる。渦中にいたときは引っ掻き回されててんやわんやという場面も少なくはなかったものの、実はとても理想的な二代目音楽監督だったのだ。

OEKと石川の聴衆に音楽を通してたくさんの刺激をもらし、私たちの目や耳を大いに開眼させてくれた井上マエストロ。あらためて心からの感謝を捧げたい。



11/9 [土] コンサートホール
14:00開演(13:00開場)

オーケストラアンサンブル金沢
第487回定期公演マスター・シリーズ
終の境地。
道義が極めた
ショスタコーヴィチ

○指揮: 井上道義(OEK桂冠指揮者)
○ソプラノ: ナタージタ・ハヴロヴァ
○バス: アレクセイ・ティホミーロフ
西村朗 / 島のヘテロフォニー(1993年度OEK委嘱作品)
ショスタコーヴィチ / 交響曲 第14番 作品135
【全席指定】SS席 ¥7,000 / S席 ¥6,000
A席 ¥5,000 / ビスタ席 ¥3,000
スターライト席 ¥1,500 / 車椅子席 ¥6,000



プッチーニ《トゥーランドット》より(2009年7月)



野田秀樹とのタッグにより上演された《フィガロの結婚》(2015年5月)

井上道義“最愛”にして、“最後”のオペラ プッチーニ《ラ・ボエーム》の見どころ聴きどころ

文=潮博恵

各地の公共ホールが連携してオペラに取り組む全国共同制作のプロジェクトが、今年はプッチーニの《ラ・ボエーム》に挑む。毎年斬新な起用が注目を集める演出は、ダンスを起点に幅広い分野で才能を発揮している森山開次、指揮は井上道義が担う。森山と井上がタッグを組むのは2019年の《ドン・ジョヴァンニ》以来2度目であり、井上が振る最後のオペラ作品になるということも相まって大きな話題を呼んでいる。プッチーニが作曲したオペラの大きな魅力は、その音楽が生み出す濃密なドラマ性にあり、後世のオペラ作曲家に多大なる影響を与えてきた。若き詩人とお

針子の悲恋が物語となる《ラ・ボエーム》は、中でも最も純粋に音楽に身をゆだねられ、自然体で作品と向き合うことの醍醐味を味わせてくれる作品だ。金沢歌劇座へお越しの際は、涙を拭うハンカチを忘れずに!



©Yuriko Takagi

10/26 [土]
14:00開演(13:00開場)

2024年度全国共同制作オペラ
《ラ・ボエーム》金沢公演

○指揮: 井上道義(OEK桂冠指揮者)
○演出、振付、美術、衣裳: 森山開次
○ミミ: 中川都文 ○ムゼッタ: イローナ・レヴォルスカヤ
○ロドルフォ: 工藤和真 ○マルチェロ: 池内 響 ほか
【全席指定】
SS席 ¥11,000 / S席 ¥8,000
A席 ¥6,000 / A席(大学生以下) ¥2,000
B席 ¥3,000 / B席(大学生以下) ¥1,000
車椅子席 ¥8,000
OEK定期会員割引 SS席 ¥9,000 / S席 ¥6,500

(会場) 金沢歌劇座
(チケット・問合せ) 石川県立音楽堂 チケットボックス TEL.076-232-8632



オーケストラアンサンブル金沢 定期公演

AUG → DEC 2024

注目すべき3公演の聴きどころをご紹介します! (文=戸部亮)

10/17 (木)

第486回定期公演フィルハーモニー・シリーズ 作品を生き活きと再構築する 佐藤の弾き振りに注目

「面白い!」「楽しい!」
佐藤俊介が弾き振りを体験したことがある人は、とにかく「面白い」「楽しい」という感情をまずかきたてられる。

東京の話で恐縮だが、2023年3月に佐藤は東京交響楽団に客演した。佐藤が弾き振りをしたのだが、聴いていてまさにこのような感情を湧かされて、とても楽しいものだった。客席に伝わった「楽しさ」は佐藤がオーケストラメンバーに積極的にコンタクトしていき、一緒に作品の表現を掘り起こし、その場の雰囲気も大切に作り上げていったところにある。このライブ感、生き活きが佐藤が弾き振りする公演の面白さ、楽しさに直結する。思えば作品を生き活きと再構築していく佐藤の姿は音楽監督に就いていたオランダ・バハ協会管弦楽団でのバハの弾き振

りでも同じであった(多くの動画がインターネットにアップロードされているので確認してほしい)。

モーツァルトに影響を与えた作曲家、ヴァンハル「交響曲 二短調 Bryan d1」とミスリヴィチェク「ヴァイオリン協奏曲」の作品で前半を組み、後半にモーツァルト「交響曲第38番(ブラハ)」でプログラムを構成。チェコに生まれたヴァンハルとミスリヴィチェク、《ブラハ交響曲》でモーツァルトへの道を構成するプログラムは佐藤の考えつくされたプログラミングセンスも表明するかのようだ。

プログラミングの美しさと湧かされて「面白い!」「楽しい!」という感情、これらが佐藤という才人とオーケストラ・アンサンブル金沢の腕前で何倍にも増幅されよう。

コンサートホール 19:00開演(18:00開場)

○リーダー・ヴァイオリン:佐藤俊介
ヴァンハル/交響曲 Bryan d1
ミスリヴィチェク/ヴァイオリン協奏曲 ホ長調
モーツァルト/交響曲 第38番「ブラハ」

【全席指定】SS席 ¥6,000/S席 ¥5,000
A席 ¥4,000/ビスタ席 ¥3,000
スターライト席 ¥1,000/車椅子席 ¥5,000

Fantastic Orchestra Concert

11/16 (土)



ファンタスティック・オーケストラコンサート

ジャンルを超えて音楽を魅せ、楽しさを伝播させるアキラさんが登場

クラシック音楽を中心に聴く人たちに多くなりがちな話。彼らは本質や本物を志向することについて好奇心旺盛であくなく探究心を持つ。それが極度に進むと、結果マニア化していく。そうなる彼らはジャンルの線引きをしっかりと定めて、領域を明確にしようとしがちになる。

しかしそれは生活を豊かにする糧である音楽や文化を楽しむ姿勢としては惜しい。本来、ジャンルを問わず各々の心に残る、響いた音楽はいい音楽だ。また楽しみ方も彩りがあったほうがいいし、同じ曲や素材であっても多方面からの楽しみ方を知ったほうが心は耕される。

ただそのような時は楽しみ方をガイドする人が必要だ。楽しみ方を見せ、魅せる仕掛けで楽しみ方を導いてくれる人でありコンテンツ。そこで思いつくのは宮川彬良(アキラさん)が出演して2003~2012年度にNHK教育・Eテレで放送されていた「クインテット」。名番組だった。アキラさんと人形の音楽とトークの掛け合いで、クラシック

音楽のみならずジャンルを超えて音楽を魅せ、楽しさを伝播させてくれた。

いいアンサンブルはポップスを演奏する場合もノリよく、見事だ。アキラさんが指揮に、ピアノに、加えてトークも加えて自在に操る名曲たち。そこにオーケストラ・アンサンブル金沢の軽妙洒落な掛け合いが溶け込む。

公演前から楽しいひと時が約束された公演である。

コンサートホール 14:00開演(13:00開場)

○指揮・ピアノ・お話:宮川彬良
モーツァルト(宮川彬良編)/アイネ・クライネ・"タンゴ"ムジーク
ショパン(宮川彬良編)/英雄ポロネーズ
ブラード(宮川彬良編)/シンフォニック・マンボ No.5
モリコーネ(宮川彬良編)/ニュー・シネマ・パラダイス
宮川彬良/マツケンサンバII ほか

【全席指定】SS席 ¥6,000/S席 ¥5,000/A席 ¥4,000
ビスタ席 ¥3,000/車椅子席 ¥5,000

*子ども劇場キャンペーン(18歳以下無料)こちらより申込み▶



12/5 (木)

第488回定期公演フィルハーモニー・シリーズ 聴き手の期待を掻き立てる若い才能を体感 グランディ&金川のドイツ・ロマン派

プログラム、オーケストラの状態に基づき演奏前に聴き手は合理的範囲でコンサートの出来ばえがある程度想定がついていることが少なくない。繰り返し聞いている名曲、普段聴いている演奏団になおさらだ。

従って、想定する期待値を超えるかどうかは指揮者とソリストに収斂されてくる。期待値を超えるかどうかを決する変数たる指揮者とソリスト。今回は期待値を超える可能性を秘めた変数だ。しかも単なる可能性にとどまらない。彼らがこれまでの各所における演奏会で高パフォーマンスを示しているのだ。聴き手が彼らの演奏を通じて、納得感を得られる再現性も担保されている期待の才能なのだ。

まず変数の一つであるヴァイオリニスト。最近急速に聴衆の支持を高める金川

真弓が登場する。金川のヴァイオリンは音程の安定感など粗削りのところがないわけではない。しかし金川のヴァイオリンを一聴すると、多くの聴衆が彼女に魅了される。それはなぜか。自分の表現のための音色づくりや表現解釈にテクニックを溶け込ませられているからだ。シューマン最晩年の心境が複雑に投影された「ヴァイオリン協奏曲」で、彼女の知性が反映される演奏を期待したい。

もう一つの変数、エリアス・グランディも今、着実に実績を積み重ねている指揮者。2025年からは札幌交響楽団の首席指揮者に就任予定だ。ドイツの劇場で力をつけてきた彼だが、横方向への流れがよい音楽づくりは一辺倒にならず、弦をベースにした構築的な音楽造形を作る指揮者だ。ブラームス「交響曲第4番」は彼の腕を確認するうってつけの曲である。

コンサートホール 19:00開演(18:00開場)

○指揮:エリアス・グランディ
○ヴァイオリン:金川真弓
ウェーバー/《魔弾の射手》序曲
シューマン/ヴァイオリン協奏曲
ブラームス/交響曲 第4番

【全席指定】SS席 ¥7,000
S席 ¥6,000/A席 ¥5,000/ビスタ席 ¥3,000/スターライト席 ¥1,500/車椅子席 ¥6,000

今号の人

CLOSE-UP PEOPLE

Sunao Goko 郷古廉さん インタビュー

色彩豊かで コントラストの強い「鮮烈な時間」

10月5日のリサイタルシリーズに登場する郷古廉。今年の4月、30歳の若さでNHK交響楽団第1コンサートマスターに就任し、オーケストラにソロ、室内楽と精力的な活動を続け、それぞれの舞台上で魅せられているファンも多いはず。そんな彼が今回の公演のプログラムを考えるにあたりテーマに掲げたのは「異国の地でインスピレーションを受け、異国で活躍した作曲家」。ファリャやブーランク、ストラヴィンスキー、ラヴェル、武満徹と多彩な作品が並ぶが、プログラムを考えるうえで大きなインスピレーションを与えられたと郷古が語ったのは意外にも画家の名前だった。

「金沢市出身の画家、鴨居玲です。私は2019年に彼をテーマにした舞台に携わり、そこで彼の人生を知りました。鴨居の絵を初めて目の当たりにしたときの、自己の存在に対する危機すら感じられるような強烈な印象は、忘れることはないでしょう。

鴨居は南米やパリ、そしてスペインに旅をし、スペインでは数年間アトリエを構えました。彼の絵から伝わってくる臭気はたしかに、ヨーロッパ南部のそれだと思います。

今回演奏するプログラムは、一見するとフランス的ですが、実はスペインと関係しているものも多く、非常に色彩豊かでコントラストの強い、鮮烈な時間となるのではないかと思います。」

OEKと共演を重ねたホールで 初のリサイタル

さて、郷古がこの音楽堂に初登場したのは2011年。当時高校2年生だった彼が井上道義(OEK桂冠指揮者)の招きでオーケストラ・アンサンブル金沢(以後、OEK)と初共演。東日本大震災直後のことだった。



東日本大震災直後に井上道義&OEKと共演(2011年3月21日定期297回)



©Hisao Suzuki

「石川には個人的に多くの思い出があります。演奏会だけでなく旅行の思い出もあり、親しみを感じています。私は宮城県出身なのですが、東日本大震災の直後、OEKとの公演のために金沢に来た時のことは今でも鮮明に覚えています。震災を経験した身として、能登半島における現状には心を痛めています。」

コンサートホールではOEKと共に演奏を重ねてきたが、リサイタルは初めて。いま注目の実力派ピアニスト、三浦謙司との共演も期待が高まる。

「素晴らしい響きをもつ音楽堂コンサートホールで演奏できることを楽しみにしております。三浦さんとは以前から共演を熱望していましたが、この度初めて形になったことが心から嬉しいです。我々のあいだにどのような反応が起こるのかぜひ楽しみにして下さい!」

コンサートホール

10/5 [土] 14:00開演(13:15開場) 音楽堂リサイタルシリーズVol.4 ヴァイオリン郷古廉&ピアノ三浦謙司

○ヴァイオリン:郷古廉
○ピアノ:三浦謙司
ファリャ/アツのスペイン民謡
ブーランク/ソナタ
武満徹/妖精の距離 ほか

【全席指定】S席 ¥3,000/A席 ¥2,000/B席 ¥1,500

郷古廉 Sunao Goko

(ごうこ・すなお)2013年ティボール・ヴァルガ国際ヴァイオリン・コンクール優勝ならびに聴衆賞・現代曲賞を受賞。現在、国内外で最も注目されている若手ヴァイオリニストのひとりである。1993年、宮城県多賀城市生まれ。2006年第11回ユーディ・メニューイン青少年国際ヴァイオリンコンクールジュニア部門第1位(史上最年少優勝)。2007年12月のデビュー以来、各地のオーケストラと共演。共演指揮者にはゲルハルト・ボッセ、フランソワ・グザヴィエ・ロト、秋山和慶、井上道義、尾高忠明、下野竜也、山田和樹各氏などがある。2017年より3年かけてベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタ全曲を演奏するシリーズにも取り組んだ。これまでに勅使河原真実、ゲルハルト・ボッセ、辰巳明子、バヴェル・ヴェルニコフの各氏に師事。国内外の音楽祭でジャン・ジャック・カントロフ、アナ・チュマチェンコの各氏のマスタークラスを受ける。使用楽器は1682年製アントニオ・ストラディヴァリ(Banat)。個人の所有者の厚意により貸与される。2019年第29回出光音楽賞受賞。NHK交響楽団ゲスト・コンサートマスターを経て、2024年4月より第1コンサートマスターに就任。





ステージアートの世界 Vol.2

～石川・香港 共同制作事業～

TIME IN A BOTTLE A PERFUME BOTTLE EXHIBITION & CONCERT



PICK UP

今回の「ステージアートの世界」は主に舞台美術と音楽が主役。「12個の香水瓶が展示され、その香水瓶一つ一つに物語を載せてミニシアターのような世界を音楽と共に楽しむ」という企画なのだが、果たしてどんな「世界」なのか——創造は膨らむものの、いかんせん謎が多すぎる。今回のステージの魅力の一つひとつ紐解いていこう。

さて、なぜ香水がモチーフなのか。これはこのプロジェクトのプロデュースを手掛けるレオン・コー自身が香水のコレクターであることがはじまり。なんと2000本もの香水瓶を持っているのだとか。展示は12の香水瓶の置かれたディスプレイに分かれており、そこでは映像や演劇、音楽、香りまで組み合わせられ、人類の歴史が語られていくという。この紙面で紹介している写真はひとつの舞台で転換していくわけではなく、博物館や美術館の展

示会のような感覚で作品を楽しんでいく趣向だ。自らの作品で最初に香水をモチーフに使用したのは13年前だそうだが、時を超えて新たなプロジェクトとして生まれ変わった。というのも、今回は国内外で数々のオペラや演劇の舞台を手掛けてきた松生紘子が舞台美術を担当。まさに香港と日本を代表する芸術家の競演といえる。演奏はオーケストラ・アンサンブル金沢のトイ・ゲーギンズをはじめとする弦楽四重奏とオーボエ奏者、ピアニストによる編成。展示だけを見ることも可能だが、生演奏はレオン・コーが作曲した楽曲の演奏が空間のあちこちに映し出される映像とシンクロし、観客は多角的な感覚から展覧会を楽しむことができるという仕掛けだ。これはぜひ3日間で4回行われる生演奏を楽しんでほしい。

今回のプロジェクトをプロデュースするのはレオン・コー。彼は香港国内外で活躍する作曲家であり、演劇プロデューサーとしての顔をも持つ若き逸材である。香港シンフォニエッタとのコラボレーション、広東語によるオリジナルのオペラを作曲するなど彼の多才な経歴を調べるだけでも枚挙に暇がない。そんな彼が日本で初めて自らの芸術性を示す場所として選ばれたのは東京でも大阪でもない、石川県立音楽堂なのである。

香港と日本の共同事業ということで、まずは10月香港で行われるパフォーミング・アート・エキスポで開催、その後12月に同じプロダクションが音楽堂の交流ホールで開催される。交流ホールという舞台と客席が固定していない自由な空間だからこそ成りうる「ステージアートの世界」をぜひ目撃してほしい。

あり、演劇プロデューサーとしての顔をも持つ若き逸材である。香港シンフォニエッタとのコラボレーション、広東語によるオリジナルのオペラを作曲するなど彼の多才な経歴を調べるだけでも枚挙に暇がない。そんな彼が日本で初めて自らの芸術性を示す場所として選ばれたのは東京でも大阪でもない、石川県立音楽堂なのである。

香港と日本の共同事業ということで、まずは10月香港で行われるパフォーミング・アート・エキスポで開催、その後12月に同じプロダクションが音楽堂の交流ホールで開催される。交流ホールという舞台と客席が固定していない自由な空間だからこそ成りうる「ステージアートの世界」をぜひ目撃してほしい。



Leon Ko トイ・ゲーギンズ

12/6 [金] 19:00開演 (展示10:30～13:00/14:00～17:30)
12/7 [土] ①14:00開演 ②19:00開演 (展示10:30～13:00/15:30～17:30)
12/8 [日] 14:00開演 (展示10:30～13:00)

TIME IN A BOTTLE A PERFUME BOTTLE EXHIBITION & CONCERT
ステージアートの世界 Vol.2
～石川・香港 共同制作事業～
○演出・構成・作曲: Leon Ko
○ヴァイオリン: トイ・ゲーギンズ(OEK楽団員) ほか
○美術: 松生紘子

【全席自由】 展示 ¥1,000 / 公演 ¥2,000

Interview 松生紘子 (舞台美術) Hiroko Matsuo



レオン・コーさんとの仕事は今回が初めてでしょうか
今回のプロジェクトで初めてお目にかかりました。笑顔が素敵な穏やかな方です。国際的な感覚をお持ちの、心の広い方だと思います。

映像や演劇、音楽、香りまで組み合わせられた多角的な仕掛けがあるそうですね。

私は今回主に香水瓶を展示している12個のディスプレイをデザインしているのですが、ウィンドウディスプレイ的なデザインは今までやったことがありませんでした。

でも、レオンさんはそれを「演劇的感覚を持ったデザイナーに担当してほしい」という希望を持っていらしたようですので、私は特に意識せず、いつも自分が舞台のデザインをしているのと同じような気持ちでプランをしていきました。

我々チームは、その1つ1つのディスプレイのことを「ミニシアター(小さい劇場)」と呼んでいます。

それを表現するうえで
どんな工夫をされたのでしょうか

それぞれのミニシアターには明確なテーマがありますので、それらを最大限効果的に見せられるように、構図や色を工夫しています。香水瓶が俳優だと思って、どうやったら一番その場面にふさわしい見え方になるか、照明の当たり方で想像して作業しました。

(まつお・ひろこ) 大阪芸術大学卒業後、劇団四季在籍中に日生名作劇場など5作品の装置をデザインする。舞台美術家・土屋茂昭氏に師事。2009年渡英。Royal Central School of Speech and Dramaにて空間デザインの修士課程を修め、2014年までロンドンを拠点に活動。Antony McDonaldやSimon Holdsworthのアシスタントデザイナーを、グランドボーンフェスティバル、ウェルジュナショナルオペラ、オランダ・ナショナル・レイズオペラなどで務める。[Dance with Devils] (三浦香演出)にて第44回伊藤嘉朗賞奨励賞、「舞台少女ヨルハ Ver.1.1a」(松多孝治演出)にて第1回伊藤嘉朗記念賞本賞受賞。帰国後の主な参加作品は「魔手」(菅尾友演出)、「蝶々夫人」(源氏物語) (岩田達宗演出)、「ランメルモールのルチア」(尾田哲演出)、など。

FEATURE Recommended Events

「舞踊の会」の魅力とみどころ 村上湛 (音楽堂邦楽主幹、明星大学教授)

昨年たいへんご好評を頂いた「舞踊の会」。今回は押し詰まって歳暮の開催となりました。石川県立音楽堂ならではの重厚華麗な「年忘れ」をお楽しみ頂きたいと思います。

金沢発信の意欲的なく傀儡師

歌舞伎舞踊で市井の風俗のさまざまを描写した作品が数ある中、〈傀儡師〉とは古代以来の伝統を受け継ぐ「人形つかい」のこと。軽妙洒落な芸尽くしを見せる難曲で、これをこのたび宗家を襲名された西川扇藏さんが踊ります。

特筆すべきは地方(伴奏音楽)の清元。錚々たる男性演者に交じり、唄・浄瑠璃の名手である御当地ひがし茶屋街・小千代さんが特に立テ(主唱者)を勤めます。金沢ならではの意欲的な配役です。

能に取材した名曲〈本行 四季の山姥〉

「加賀宝生」の長い歴史を背景に今も能楽文化が盛んな金沢。世阿弥の書いた最高傑作に能〈山姥〉があり、それを地歌(京・大坂で伝習された三味線歌曲)に移した舞踊作品が〈本行 四季の山姥〉です。「本行」とは、「日本舞踊の取材源としての能」を意味します。

地方の菊央雄司さんは今が芸盛り。地歌は弾き歌いが原則ですので、三弦と歌どちらも力量を要します。立方(舞踊手)は宗家・山村友五郎さん。この曲は山村流で特に重んじられる大作で、装束と作り物(舞台装置)も能をイメージした古格を保ちます。

古典秘曲の新たな舞踊化〈長恨歌曲〉

山田流等曲には流祖・山田檢校が創作した「四ツ物」と呼ばれる秘曲4曲があります。古代中国、玄宗皇帝と楊貴妃の悲恋を歌う〈長恨歌曲〉はその源ともいえる一大傑作。もともと演奏専門の作品ですが、このたびは音楽堂邦楽主幹・村上湛の長年の懸案を実現し、人間国宝

の名手・山勢松韻さんの地方という豪華な布陣のもと、吾妻徳穂さんの楊貴妃、花柳寿楽さんの方士(道教の修道士)、練達のご両人に新たに振付も願って、江戸時代の古曲を現代の創作舞踊として初めて世に問います。



邦楽ホール

12/28 [土]

14:00開演 (13:15開場)

伝統美の神髄—
音楽堂 舞踊の会

〔清元「傀儡師(かいらいし)」〕

立方/西川扇藏
浄瑠璃/小千代(ひがし芸妓)、清元志寿子太夫、清元一太夫
三味線/清元志寿造、清元雄二郎、清元美一郎

〔地歌「本行 四季の山姥(しきのやまんば)」〕

立方/山村友五郎
地歌/菊央雄司

〔箏曲「長恨歌曲(ちようごんかのきょく)」(舞踊新作)〕

立方/吾妻徳穂(楊貴妃)
立方/花柳寿楽(方士)
箏/山勢松韻(人間国宝)、山勢麻衣子、奥山益勢
三弦/山登松和
笛/福原 徹

囃子/藤舎呂兵衛中

【全席指定】S席 ¥6,000/A席・車椅子席 ¥5,000/B席 ¥1,500

REPORT

10/9(水) 文楽公演をもっと楽しむために! 「人形浄瑠璃 文楽の楽しみ」プレ講座レポート

10/9の文楽公演を前に、音楽堂邦楽主幹・村上湛によるプレ講座が9/10に開催されました。写真や音源を使いながら人形浄瑠璃の芸の本質に迫る内容で、今回は10/9の演目の解説をお届けします。当日までに予習・復習をしておきましょう。 文=本江亜珠佳

「文楽」とは、太夫の語りと三味線の演奏、人形遣いの三業が一体となった人形浄瑠璃の芸で、多くの名作が受け継がれてきました。

昼の部の演目は「時代物」の大作「絵本太功記」。本能寺で主君の小田春長(織田信長)を討った武智光秀(明智光秀)が、謀反を決意してから命を落とすまで、全十三段で刻一刻と描きます。尼ヶ崎の段では、主君を殺す不義を働いた息子を許せぬ母が、自ら犠牲となり、光秀に母殺しの罪を着せて死んでいくのです。光秀の苦悩と砂をかむようなやるせない思いがにじみます。時代設定や人物の名が史実と異なるのは、時代物の特徴です。

夜の部の「近頃河原の達引」は、日常生活を映した「世話物」と呼ばれるジャンルです。盲目の老母と暮らし、大道芸「猿廻し」で生計を立てる与次郎。妹は祇園の遊女です。妹が心中へ向かうと悟りながら、兄の歌うにぎやかな猿歌に、家族愛と悲しみが深まります。音楽的な趣向を凝らした素晴らしい段となっています。

かつて人形浄瑠璃は、時代物が全段通して上演され、世話物が添えられました。現代の皆さまは両方を味わうもよし、どちらか一方だけでも十分に文楽の魅力に触れることができます。



9/10プレ講座の様子

邦楽ホール

10/9 [水]

昼の部 14:00開演 (13:30開場)
夜の部 18:30開演 (18:00開場)

人形浄瑠璃 文楽

〔昼の部〕
「二人三番叟」
「絵本太功記」夕顔の段、尼ヶ崎の段
〔夜の部〕
「近頃河原の達引」
四条河原の段、堀川猿廻しの段

【全席指定】
一等 ¥4,500/二等・車椅子 ¥3,000/大向 ¥1,500
昼夜通し 一等 ¥7,000 二等 ¥5,000



2024年10月9日(水) 邦楽ホール

10/9 [水]

昼の部 14:00開演 (13:30開場)
夜の部 18:30開演 (18:00開場)

人形浄瑠璃 文楽

〔昼の部〕
「二人三番叟」
「絵本太功記」夕顔の段、尼ヶ崎の段
〔夜の部〕
「近頃河原の達引」
四条河原の段、堀川猿廻しの段

【全席指定】
一等 ¥4,500/二等・車椅子 ¥3,000/大向 ¥1,500
昼夜通し 一等 ¥7,000 二等 ¥5,000

がんばろう
NOTO

オーケストラ・アンサンブル金沢
能登半島地震

復興応援コンサート 未来へ 想いをつなぐ

今年1月1日に起こった能登半島地震。オーケストラ・アンサンブル金沢(以下、OEK)は被災された皆様を音楽で寄り添う活動を続けてきました。チャリティコンサートを開催し、公演の際には岩城宏之(永久名誉指揮者)の時代から続くバケツ募金の実施、被災地に向けたメッセージボードの設置——なかでも、避難所・被災地での訪問コンサートは楽団員もスタッフも心動かされる場面がたくさんありました。時に、珠洲で出会った高校生たちに演奏をした際に「初めて、地震のことを忘れて楽しむことができました」という言葉が胸を打ち、演奏しに行った先々で笑顔をいただいで参りました。

そして9月、これまでに引き続き地震によって被災された皆様に寄り添い、復興応援コンサートを開始いた

します。来年3月までに全国11府県22公演の開催を予定しており、アーティストやホール、関係者の皆様にご協力いただき、「祈り、安らぎ、勇気」をテーマとしたプログラムをお届けします。
9月1日での加賀公演では加賀市中学校の吹奏楽団との共演、27日の石川県立図書館/金沢港クルーズターミナルでの公演では広上淳一(OEKアーティストティック・リーダー)が指揮を務め、県立図書館公演では能登地区から被災された方を無料バスツアーにご招待いたします。

10月以降も北陸三県では高岡や敦賀、羽咋、そして金沢で公演を予定。11/27の公演は地震災害派遣を行った陸上自衛隊中央音楽隊との合同演奏で、柴田昌宜(指揮)と鶴真衣(独唱)が出演いたします。このコンサートが多くの皆様と共に復興の応援となることを願います。

収益の一部は音楽による被災地の復興支援活動に充てられます。

能登半島地震で被災された方を一部招待いたします。

11/24 [日] 15:00開演(14:00開場)

羽咋公演(会場)コスモアイル羽咋
コープいしかわプレゼンツ
能登復興応援ピースコンサート

- 指揮:鈴木織衛
- ヴァイオリン:
水谷 晃(OEK客員コンサートマスター)
- ソプラノ:直江学美
- メゾ・ソプラノ:仲谷響子
- バリトン:栗原峻希
- 司会:松村怜郎

池辺晋一郎/祈り、そして光 —能登半島地震犠牲者の鎮魂として
ベートーヴェン/ロマンス 第2番
ビゼー/《カルメン》より闘牛士の歌
菅野よう子/花は咲く
【入場無料】

10/29 [火] 18:30開演(17:45開場)

敦賀公演(会場)敦賀市民文化センター

- 指揮:碓山隆一郎
- バンドネオン:小松亮太

池辺晋一郎/祈り、そして光
—能登半島地震犠牲者の鎮魂として
ピアノ/オブリビオン
ピアノ/リベルタンゴ
モーツァルト/交響曲 第41番「ジュピター」 ほか
【全席自由】
一般 ¥3,000
高校生以下 ¥1,000

11/13 [水] 13:30開演(13:00開場)

志賀公演

(会場)志賀中学校体育館

- 指揮:鈴木織衛
- モーツァルト/《フィガロの結婚》序曲
- マズネ/《タイス》より 瞑想曲
- チャイコフスキー/弦楽セレナードよりワルツ
- 菅野よう子/花は咲く
- ベートーヴェン/交響曲 第7番より第一楽章
- 【入場無料】中学生対象公演 ※地域の方々も入場可

10/10 [木] 19:00開演(18:15開場)

高岡公演(会場)富山県高岡文化ホール



- 指揮:石崎真弥奈
- ソプラノ:山元三奈
- メゾ・ソプラノ:伴野公実子
- バリトン:渡辺洋輔

池辺晋一郎/祈り、そして光
—能登半島地震犠牲者の鎮魂として
ヴェルディ/《椿姫》より
ああ、そはかの人か〜花から花へ
ビゼー/《カルメン》よりハバナ
ロッシーニ/《セヴィリアの理髪師》より
私は町の何でも屋 ほか

【全席自由】一般 ¥3,000/高校生以下 ¥1,000

※他の公演についてはP10の公演情報をご覧ください。

11/27 [水] 19:00開演(18:15開場)

金沢公演

(会場)石川県立音楽堂 コンサートホール



- 指揮:柴田昌宜
- 独唱:鶴 真衣
- 共演:陸上自衛隊中央音楽隊メンバー
- 司会:戸丸彰子

シューベルト/アヴェ・マリア
古関裕而/オリンピック・マーチ
ロウ/踊りあかそう
滝廉太郎/花
渡辺俊幸/能登の翼 ほか

【全席自由】一般 ¥3,000/高校生以下 ¥1,000

大槻文蔵チャリティ能「杜若 素雛子」の見どころ 村上 湛(音楽堂邦楽主幹・明星大学教授)



このたびは石川県立音楽堂にご縁の深い人間国宝の能楽師・大槻文蔵さんの発願により、「能登半島復興支援チャリティ能」が開催されます。演目は、世阿弥の娘唄・金春禪竹の書いた傑作「杜若」です。
この能のシテは晩春から初夏に咲くカキツバタの花の精です。これが『伊勢物語』に描かれて有名なことから、主人公である在原業平、その恋人である二条后・藤原高子、この二人もまた合体したイメージで描かれる設定となっています。能の作られた室町時代、『伊勢物語』は業平の一代記として読み取られ、「恋多き貴公子」だった彼は高子をはじめ数多くの女性と契ります。実は業平は仏の化身であり、その恋は女性たちを救いに導く方便だった……現代人の目から見ると反論が出て当然ではありますが、これが中世の『伊勢物語』観でした。能「杜若」はその舞台化です。
加えてここには、「草木国土・悉皆成仏」の仏教哲学が讃えられます。万物に靈性を見出す古来の日本人の考えでは、人間も

植物もみな平等の魂を持ち、それぞれが「仏」たり得る。現代の人権意識を先取りしたような発想が、能「杜若」の根底に潜みます。
今後の災厄で世を去られた方々の冥福を静かに祈りつつ、この美しい「救済の能」を捧げたいと思います。

11/27 [水] 邦楽ホール
18:00開演(17:30開場)

大槻文蔵チャリティ能

- 解説「草木国土 悉皆成仏」
- 村上湛(石川県立音楽堂 邦楽主幹)

- 能「杜若 素雛子」
- シテ:大槻文蔵(人間国宝)
- ワキ:福王知登
- 笛:竹市 学
- 小鼓:成田達志
- 大鼓:山本哲也
- 太鼓:小寺真佐人

【全席自由】¥5,000



Artist meets Kanazawa craft

金沢百番街

石川県立音楽堂

伝統を重んじ
音楽を愛する金沢で
心待ちにしたOEKとの共演

ピアニスト ファジル・サイ (トルコ・アンカラ出身)

鉄板焼き、寿司に、しゃぶしゃぶ…。大好きな日本食に合わせるの、何ととっても「SAKE(日本酒)」です。冬になると、熱燗もいいですね。そうそう、お好み焼きにも日本酒が合いますよ。今回ご用意いただいた大吟醸の飲み比べセットは、どれも私好みです。私は日本酒のスペシャリストではありませんが、おいしいことは分かります。杜氏の農口(尚彦)さんは地元、能登のご出身で、91歳の今も現役でご活躍されているとお聞きしました。素晴らしいことです。

私が初めて金沢に来たのは1997年、まだ若い頃でした。金沢は京都と似て、日本のよき伝統を持ったまち、という印象が強いです。2010年に来た時には、芸妓さんとお座敷遊びを体験したのを覚えています。伝統を重んじる金沢の人々が、西洋音楽にも関心が高いのは大変うれしい

ことです。金沢の舞台上になると、客席から温かみを感じます。

今回、金沢は4度目となりましたが、石川県立音楽堂での演奏も、オーケストラ・アンサンブル金沢(OEK)との共演も初めて。OEKの評判は以前から耳にしていたし、才能ある広上(淳一)マエストロとの共演も久しぶりで、心待ちにしていました。音楽堂は音の響きが素晴らしく、ファンタスティックな環境だと感じています。

石川、特に能登地方は元日に大きな地震に見舞われました。被災された方々に、心よりお見舞い申し上げます。私の母国のトルコも地震が多い地域で、昨年2月にも多くの犠牲者がでました。こんな時こそ、音楽の役割は人々の癒しとなることだと思います。これからも、さまざまな形で支援を続けていきたいと考えています。



撮影協力:
SAKE食堂 by 農口尚彦研究所

▶ Profile
ファジル・サイ

1970年トルコ生まれ。1994年ヤング・コンサート・アーティスト国際オーディションで優勝し、国際的な演奏活動を開始。ニューヨーク・フィルなど世界各地の主要オーケストラに定期的に出演するなど、活発な活動を展開。個性豊かな演奏が衝撃を呼び、CDも「春の祭典」、「ブラック・アース」などが大ヒット。作曲家でもあり、「シルクロード」、「トルコ行進曲ジャズ」をはじめ、クラシックからジャズまで多くの作品を書いている。



©Fethi Karaduman

— SHOP INFO —

SAKE食堂 by 農口尚彦研究所

石川県金沢市木ノ新保町1-1
金沢百番街百番キッチン1階

TEL 076-204-8383

(営業時間) 9:00~23:00(L.O.22:30)
(定休日) 不定休

(取材・文=本江亜珠佳)

石川県立音楽堂主催 & OEK公演スケジュール 10月～12月

25歳以下の当日券半額(前日予約可) 託児サービスあり(有料:要事前申込み) 安 1,000円以下で入場できる公演 0歳から入場できる公演 ※都合により内容に変更が生じる場合があります。

オケストアンサンブル金沢 石川県立音楽堂以外の公演

10.4 [金] 19:00開演(18:15開場) **コンサートホール**

オケストアンサンブル金沢
いしかわ秋の芸術祭 文化絢爛
究極のイタリア・オペラアリア



- 指揮:大井剛史
- ソプラノ:イローナ・レヴォルスカヤ
- テノール:笹田博昭
- 案内役:池辺晋一郎

ロッシーニ/《セヴィリアの理髪師》序曲
ヴェルディ/《椿姫》より
ああ、そはかの人か〜花から花へ
ヴェルディ/《運命の力》序曲
プッチーニ/《トゥーランドット》より
誰も寝てはならぬ ほか

【全席指定】
S席 ¥5,000/A席 ¥4,000/B席 ¥3,000

10.5 [土] 14:00開演(13:15開場) **コンサートホール**

音楽堂リサイタルシリーズvol.4
ヴァイオリン郷古廉&ピアノ三浦謙司



- ヴァイオリン:郷古 廉
 - ピアノ:三浦謙司
- ファリャ/ア7つのスペイン民謡
プーランク/ヴァイオリン・ソナタ
武満徹/妖精の距離
ラヴェル/ヴァイオリン・ソナタ ほか

【全席指定】
S席 ¥3,000/A席 ¥2,000/B席 ¥1,500

10.9 [水] 昼の部 14:00開演(13:30開場) 夜の部 18:30開演(18:00開場) **邦楽ホール**

人形浄瑠璃 文楽



〈昼の部〉
「二人三番唄」
「絵本太功記」夕顔棚の段、尼ヶ崎の段
〈夜の部〉
「近頃河原の違引」
「四条河原の段、堀川猿廻しの段」

【全席指定】
一等 ¥4,500/二等・車椅子 ¥3,000
大向う ¥1,500
昼夜通し 一等 ¥7,000 二等 ¥5,000

10.17 [木] 19:00開演(18:00開場) **コンサートホール**

オケストアンサンブル金沢
第486回定期公演
フィルハーモニー・シリーズ
次代を牽引する佐藤俊介の弾き振り。
モーツァルトと同時代人たち



- リーダー・ヴァイオリン:佐藤俊介
- ヴァンハル/交響曲 Bryan d1
ミスリヴィチェク/ヴァイオリン協奏曲 ホ長調
モーツァルト/交響曲 第38番「ブラハ」

【全席指定】SS席 ¥6,000/S席 ¥5,000
A席 ¥4,000/ピスタ席 ¥3,000
スターライト席 ¥1,000/車椅子席 ¥5,000

11.9 [土] 14:00開演(13:00開場) **コンサートホール**

オケストアンサンブル金沢
第487回定期公演マエストロ・シリーズ
井上道義×OEK 最後の共演



- 指揮:井上道義(OEK桂冠指揮者)
- ソプラノ:ナデジダ・パウロヴァ
- バス:アレクセイ・ティホミロフ

西村朗/鳥のヘテロフォン
(1993年度OEK委嘱作品)
ショスタコーヴィチ/交響曲 第14番
【全席指定】SS席 ¥7,000/S席 ¥6,000
A席 ¥5,000/ピスタ席 ¥3,000
スターライト席 ¥1,500/車椅子席 ¥6,000

11.9 [土] 17:00開演(16:15開場) **交流ホール**

輝け! アクティブシニアのための
演劇クラス Vol.2 **安**

- 総合プロデューサー:西村まさ彦(俳優)
- 講師:関口静夫、山田亜樹
- 出演:シニアの皆様

「シング・シング・シニア」、「虹の彼方に」
【全席自由】一般 ¥1,000/高校生以下 ¥500

11.15 [金] 19:00開演(18:00開場) **2階カフェコンチェルト**

音楽堂カルチャーナビ vol.3 **安**
Shin-ichiroの部屋
アキラさんを迎えて!
「マツケンサンバの裏に研究あり」



- ナビゲーター:池辺晋一郎
(石川県立音楽堂エグゼクティブ・ミュージック・ディレクター)
 - ゲスト:宮川彬良(作曲家)
- クラシックを中心とした音楽の講座
【全席自由】¥1,000
※11/16 OEK FOCチケットをお持ちの方は¥500

11.16 [土] 14:00開演(13:00開場) **コンサートホール**

オケストアンサンブル金沢
ファンタスティック・オーケストラコンサート
天オアキラさんの
スペシャルコンサート



- 指揮・ピアノ・お話:宮川彬良
- モーツァルト(宮川彬良編)/
アイネ・クライネ・タンゴムジーク
ショパン(宮川彬良編)/英雄ポロネーズ
ブラード(宮川彬良編)/
シンフォニック・マンボ No.5
モリコーネ(宮川彬良編)/
ニュー・シネマ・パラダイス
宮川彬良/マツケンサンバ II ほか

【全席指定】
SS席 ¥6,000/S席 ¥5,000/A席 ¥4,000
ピスタ席 ¥3,000/車椅子席 ¥5,000

※子ども劇場キャンペーン(18歳以下無料)
こちらよりお申込み▶

11.27 [水] 19:00開演(18:15開場) **コンサートホール**

オケストアンサンブル金沢
能登半島地震
復興応援コンサート 金沢公演



- 指揮:柴田昌宜
- 独唱:鶴 真衣
- 共演:陸上自衛隊中央音楽隊メンバー
- 司会:戸丸彰子

シューベルト/アヴェ・マリア
古関裕而/オリンピック・マーチ
ロウ/踊りあかそう
滝廉太郎/花
渡辺俊幸/能登の翼 ほか
【全席自由】一般 ¥3,000/高校生以下 ¥1,000

11.27 [水] 18:00開演(17:30開場) **邦楽ホール**

能登半島復興支援
大槻文蔵チャリティ能



- 解説「草木国土 悉皆成仏」
●村上湛(石川県立音楽堂 邦楽主幹)
能「杜若・素囃子」
●シテ:大槻文蔵 ●ワキ:福王知登
【全席自由】¥5,000

11.28 [木] 12:15開演(11:30開場) **コンサートホール**

音楽堂ランチタイムコンサート **安**
スロヴァキアの名チェリスト
×気鋭のピアニスト



- チェロ:ルトヴィート・カンタ
 - ピアノ:田中正也
- リスト/ラ・カンパネラ
ドビュッシー/チェロ・ソナタ ほか
【全席自由】¥500

12.3 [火] 14:00開演 **資料室**

音楽堂トークサロン@資料室 Vol.9
「音楽と絵画でつづる
クリスマス物語」 **入場無料**



- お話し:谷内江潤子
- 【全席自由】
参加無料
(要申込・定員あり)

12.5 [木] 19:00開演(18:00開場) **コンサートホール**

オケストアンサンブル金沢 **25 託**
第488回定期公演フィルハーモニー・シリーズ
世界が囁望する金川真弓登場。
グランディのドイツ・ロマン派



- 指揮:エアース・グランディ
- ヴァイオリン:金川真弓

ウェーバー/《魔弾の射手》序曲
シューマン/ヴァイオリン協奏曲
ブラームス/交響曲 第4番
【全席指定】SS席 ¥7,000/S席 ¥6,000
A席 ¥5,000/ピスタ席 ¥3,000
スターライト席 ¥1,500/車椅子席 ¥6,000

12.6 [金] 19:00開演(展示 10:30~13:00/14:00~17:30) **交流ホール**

12.7 [土] ①14:00開演 ②19:00開演(展示 10:30~13:00/15:30~17:30)

12.8 [日] 14:00開演(展示 10:30~13:00)

TIME IN A BOTTLE A PERFUME BOTTLE
EXHIBITION & CONCERT
ステージアートの世界 Vol.2
~石川・香港 共同制作事業~



- 演出・構成・作曲:Leon Ko
 - ヴァイオリン:トロイ・グーギンズ(OEK) ほか
 - 美術・デザイン:松生紘子
- 【全席自由】展示 ¥1,000/公演 ¥2,000

12.7 [土] 15:00開演(14:00開場) **コンサートホール**

PFU クリスマス・チャリティコンサート



- 指揮:広上淳一(OEKアーティストリダー)
- ソプラノ:中丸三千繪

ヘンデル/《セルセ》より オンブラ・マイ・フ
ヴェルディ/《椿姫》より
ああ、そはかの人か〜花から花へ
プッチーニ/
《ジャンニ・スキッキ》より 私のお父さん
(トスカ)より 歌に生き、愛に生き

【全席指定】¥1,500
※本コンサートの収益は石川県を通じて「令和6年能登半島地震災害義援金」として寄附いたします。

12.22 [日] 14:00開演(13:30開場) **コンサートホール**

小中学生のためのコンサート **安**
パイプオルガン スペシャル★



- オルガン:黒瀬 恵
 - ナレーション:平見夕紀
 - ハンドベル:北陸学院ハンドベルクラブ
- アダン/オー・ホーリー・ナイト
バッハ/トッカータとフーガ ほか
【全席指定】一般 ¥1,000/中学生以下 ¥500
3歳以下 膝上無料

12.28 [土] 14:00開演(13:15開場) **邦楽ホール**

いざ、日本の美 ――
音楽堂 舞踊の会 **託**



〈清元「傀儡師(かいらいし)〉
立方/西川 扇藏
浄瑠璃/小千代(ひがし芸妓)、
清元志寿子太夫、清元一太夫
三味線/清元志寿造、清元雄二郎、
清元美一郎

〈地歌「本行 四季の山姥(しきのやまば)〉
立方/山村友五郎
地歌/菊英雄司

〈箏曲「長恨歌曲(ちやうごんかのきょく)〉(舞踊新作)
立方/吾妻徳穂(楊貴妃)
立方/花柳寿楽(方士)
箏/山勢松韻(人間国宝)、
山勢麻衣子、奥山益勢

三絃/山登 松和
笛/福原 徹
囃子/藤倉呂英社中
【全席指定】S席 ¥6,000
A席・車椅子席 ¥5,000/B席 ¥1,500

12.10 [木] 19:00開演(18:15開場) **コンサートホール**

能登半島地震 復興応援コンサート
〈問合せ〉オーケストラ・アンサンブル金沢 TEL 076-232-0171

高岡公演 (会場)富山県高岡文化ホール

- 指揮:石崎真弥奈
- ソプラノ:山元三奈
- メゾ・ソプラノ:伴野公三子
- バリトン:渡辺洋輔



池辺晋一郎/祈り、そして光
―能登半島地震犠牲者の鎮魂として
ヴェルディ/《椿姫》より
ああ、そはかの人か〜花から花へ
ビゼー/《カルメン》よりハバネラ
ロッシーニ/《セヴィリアの理髪師》より
私は町の何でも屋 ほか

【全席自由】一般 ¥3,000/高校生以下 ¥1,000

12.11 [金] 19:00開演(18:15開場) **コンサートホール**

守山公演 (会場)守山市民ホール

- 指揮:石崎真弥奈
- ピアノ:久津内 瞳

池辺晋一郎/祈り、そして光
―能登半島地震犠牲者の鎮魂として
モーツァルト/ピアノ協奏曲 第23番
モーツァルト/交響曲 第41番「ジュピター」
琵琶湖周航の歌
【全席自由】一般 ¥3,000/高校生以下 ¥1,000

12.12 [土] 15:00開演(14:15開場) **コンサートホール**

高島公演 (会場)高島市民会館

- 指揮:石崎真弥奈
- フルート:中川 彩

池辺晋一郎/祈り、そして光
―能登半島地震犠牲者の鎮魂として
モーツァルト/フルート協奏曲 第1番
モーツァルト/交響曲 第41番「ジュピター」
琵琶湖周航の歌
【全席自由】一般 ¥3,000/高校生以下 ¥1,000

12.29 [火] 18:30開演(17:45開場) **邦楽ホール**

敦賀公演 (会場)敦賀市民文化センター

11.1 [金] 19:00開演(18:15開場) **邦楽ホール**

新潟公演 (会場)新潟市民芸術文化会館

11.3 [日祝] 14:00開演(13:15開場) **邦楽ホール**

妙高公演 (会場)妙高市文化ホール

- 指揮:碓山隆一郎
- バンドネオン:小松亮太

池辺晋一郎/祈り、そして光
―能登半島地震犠牲者の鎮魂として
ピアノ/オプティオン
ピアノソナタ/リベルタンゴ
モーツァルト/交響曲 第41番「ジュピター」 ほか
【全席自由】一般 ¥3,000/高校生以下 ¥1,000

12.10 [木] 19:00開演(18:15開場) **コンサートホール**

美濃加茂公演 (会場)美濃加茂市文化会館

12.21 [土] 14:00開演 **邦楽ホール**



- 指揮:石崎真弥奈
- ピアノ:竹田理琴乃

モーツァルト/ピアノ協奏曲 第21番より
マラー/交響曲第5番より アダー・ジュート(ベニスに死す)
ベートーヴェン/交響曲 第7番より 第1楽章(のだめカンタービレ)
モリコーネ/愛のテーマ(ニュー・シネマ・パラダイス)
久石譲/人生のメロ・ゴランド(ハウルの動く城) ほか

【全席自由】一般 ¥3,500/高校生以下 ¥1,500
〈会場〉石川県小松市團十郎芸術劇場うらら
〈問合せ〉OEK 小松友の会(マルチ楽器内)
TEL.0761-22-5552

12.26 [土] 14:00開演(13:00開場) **邦楽ホール**

2024年度全国共同制作オペラ
《ラ・ボエーム》金沢公演

井上道義、「最愛」にして「最後」の
オペラ! 盟友森山開次とともに

- 指揮:井上道義(OEK桂冠指揮者)
- 演出・振付・美術・衣裳:森山開次
- ミミ:中川郁文 ●ムゼッタ:イローナ・レヴォルスカヤ
- ロルフ:工藤和真 ●マルチェロ:池内 晋 ほか

プッチーニ/《ラ・ボエーム》全4幕
【全席指定】
SS席 ¥11,000/S席 ¥8,000/A席 ¥6,000
B席(大学生以下) ¥2,000/B席 ¥3,000
C席(大学生以下) ¥1,000/車椅子席 ¥8,000
OEK定期会員割引 SS席 ¥9,000/S席 ¥6,500

〈会場〉金沢劇座
〈チケット・問合せ〉石川県立音楽堂 チケットボックス
TEL.076-232-8632

12.30 [土] 15:00開演(14:15開場) **邦楽ホール**

第18回 能美市ファミリーコンサート
女声合唱による「能登の翼」
近藤嘉宏の「皇帝」

- 指揮:碓山隆一郎
- ピアノ:近藤嘉宏
- 合唱:能美市合同女声合唱団

ベートーヴェン/ピアノ協奏曲 第5番「皇帝」
小田美樹/群青
谷村新司/いい日旅立ち
渡辺俊幸/能登の翼 ほか

【全席指定】S席 ¥4,000/A席 ¥3,000
B席 ¥2,000/B席(高校生以下) ¥1,000
〈会場〉能美市根上総合文化会館
〈問合せ〉能美市根上総合文化会館
TEL.0761-55-8550

12.21 [土] 14:00開演 **邦楽ホール**

黒部公演



- 指揮:松井慶太
- ピアノ:海野雅成
- ベース:楠井五月
- ドラム:沼澤 尚

指揮J. S. バッハ/G線上のアリア
チャイコフスキー/弦楽のためのセレナードよりフルツ
オスカー・ピーターソン/自由への賛歌
アンダーソン/Sleigh Ride ほか
【全席指定】調整中
〈会場〉黒部市芸術創造センター・セレネ
〈問合せ〉黒部市芸術創造センター・セレネ
TEL.0765-62-2000

がんばろう
NOTO

能登復興支援 音楽堂マルシェ

買って応援！
食べて応援！！

石川県立音楽堂の新しい試み！
キッチンカーや能登物産の販売など
能登の応援に！旅行のお土産に！ぜひお立ち寄りください。

GOODS

FOOD

※日によって、営業時間や出店者が異なります。
下記二次元バーコード（音楽堂 HP ニュース欄）から
ご確認ください。



能登のあたたかい笑顔に
会いにきてね！



輪島朝市が
出店する日も！



キッチンカーも
続々登場！



豆皿絵付けなど
お楽しみ体験コーナーも♪



石川県立音楽堂 1F ▲
2F ▼



金澤ちとせ珈琲 自産 焙煎
KANAZAWA CHITOSE COFFEE

カフェ・コンチェルト

英国製スピーカー「タンノイ・オートグラフ」から流れる
クリアなサウンドと共に、香り高い珈琲をお楽しみください。



休憩にもご利用いただけます
ごゆっくりお寛ぎください

CHECK!!

音楽堂マルシェ

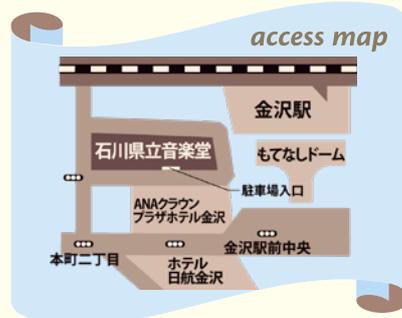


営業予定や出店者情報など

カフェ・コンチェルト



営業日やメニューのご案内



石川県立音楽堂 オーケストラ・アンサンブル金沢

チケットのお求め

石川県立音楽堂チケットボックス（石川県立音楽堂1F） TEL 076-232-8632（窓口）9時～19時（電話）10時～18時

（公財）石川県音楽文化振興事業団 石川県金沢市昭和町20-1 TEL 076-232-8111
アクセス：JR北陸線 金沢駅兼六園口（東口）徒歩1分 / 北鉄バス 金沢駅下車

石川県立音楽堂HP
<https://www.ongakudo.jp>



オーケストラ・アンサンブル金沢HP
<https://www.oek.jp>

